

## 令和3年度 学校評価

### 《 今年度の基本方針 》

1. 学力向上の推進 ～主体的に、自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成～
2. 規範意識向上の推進 ～規律ある行動ができる子どもの育成～
3. 仲間づくり、集団づくりの推進 ～仲間とともに支え合い、ともに伸びる子どもの育成～
4. 体力向上の推進 ～楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む態度の育成～

### 1. 学力向上の推進 ～主体的に、自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成～

楽しい授業・工夫のある授業づくり、「読むこと」を通して主体的に自分の思いや考えを伝え合う力の育成に努めた。とりわけ、「説明的文章を読み取る力」の育成に向けた指導法や手立ての工夫について、授業研究を通して研修を重ねた。

#### (1) 児童アンケートより（数字は肯定的な回答の割合で、単位は%）

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
① 授業は、分かりやすいですか。	92	91	97	94	95	96	94
② 読んだり、思ったことを話し合ったりすることが好きですか。	53	69	68	62	71	79	67

#### (2) 保護者アンケートより（数字は肯定的な回答の割合で、単位は%）

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
①学校は ICT 機器を活用した楽しく工夫のある授業を通して、子どもの学ぶ意欲や確かな学力の育成に取り組んでいる。	81	82	92	91	93	90	88
②子どもは、授業を通して、自分の思いや考えを伝えられるようになってきている	84	81	81	90	89	92	86

授業が分かりやすいと答えた児童が9割を超えている。しかし、「読んだり話し合ったりすることが好き」と答えた児童は67%で、文章を読んだり、読んで思ったことや考えたことを伝え合ったりする学習活動に苦手意識をもつ児童が多い。

有効な指導の方法や手立てについて教材研究や実践研究を重ね、文章を読み取る力や、タブレットを活用して、自由に自分の思いや考えを進んで表現する力を高めていきたい。

### (3) 全国学力・学習状況調査の結果より

国語・算数とも、奈良県平均正答率を6ポイント上回った。

とりわけ、国語の「書く能力」のポイントが高い。算数では、「数学的な考え方」の観点や問題形式が「記述式」のポイントが高い。

論理的に考え、記述することにおいて、「書く活動・読み取る活動」を国語のみならず各教科に取り入れてきた成果が表れているのではないかと考える。

## 2. 規範意識向上の推進 ～規律ある行動ができる子どもの育成～

規律ある行動ができる子どもの育成、友達の良さを理解し、仲間と共に励まし合い高め合う集団づくりに努めた。そのために、生活目標を揚げ、目標達成に向けた指導を全職員で共有しながら進めてきた。

### (1) 児童アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
① 廊下を走らず歩いていますか。	81	73	83	68	81	77	77
② 進んで挨拶をしていますか。	77	92	91	89	83	90	87
③ 掃除時間は、いっしょけんめい掃除をしていますか。	89	91	98	93	97	95	94

### (2) 保護者アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
① 学校は、子どもが基本的な生活習慣を身につけ、社会や学校のルールを守ることができるよう指導に取り組んでいる。	91	85	96	91	94	95	92

②子どもは、学校の生活や行事を通して、仲間を大切にし、お互いを高め合う力が育ってきている。	93	92	89	95	91	97	93
---	----	----	----	----	----	----	----

小学校生活において、移動時の廊下歩行は長年の課題である。特に、朝の昇降口開錠時や長い休憩時間の後に、教室に急ぐあまりに廊下を走る児童を見かける。廊下で起こりえる事故の具体的な例を挙げながら指導はしているが、安全に気をつけて学校生活を送ることができるよう、廊下歩行については、継続して指導していきたい。

挨拶は、コロナ禍で、「大きな声で元気よく挨拶」が難しくなり、登校時に顔を合わせても、元気よく挨拶を返す児童は少し減っているように感じる。しかし、目礼やお辞儀、マスク越しに笑顔を返す児童もいる。今年度も、学校生活目標に掲げていたが、地域や運営委員会の挨拶運動を通して、引き続き挨拶ができる子どもの育成に取り組んでいきたい。

また、毎月の人権放送を通して、仲間づくりを意識させ、図工室の前に掲示している「いちぶっこありがとうの木」などを通して、これからもお互いの良さを見つめ合える子どもたちに、育てていきたいと考えている。

校内美化については、6年生が低学年の教室に入って掃除の仕方を教えたり、手伝いをしたりしている。また、3年生が高学年と一緒にトイレ掃除をして、方法が身につくよう、掃除指導を行っている。規律ある行動や基本的生活習慣の確立に向けて、今後も、家庭と連携しながら取り組んでいきたい。

### 3. 仲間づくり、集団づくりの推進 ～仲間とともに支え合い、ともに伸びる子どもの育成～

すべての児童がいきいきと活動でき、自分の大切さとともに他の人の大切さを認められる子の育成に努めた。いじめアンケートや横浜プログラムを活用し、児童の実態把握から、個に応じた細やかな指導、支援を行った。

#### (1) 児童アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
①友達と仲良く協力して学校生活を送れていますか。	86	89	94	92	88	96	91
②学校で、いのちの大切さを学んでいますか。	88	93	97	95	92	97	94
③学校は楽しいですか。	88	92	91	89	85	93	90

(2) 保護者アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
①学校は、思いやりの心を育て、自分も他の人も大切にできる子どもの育成に取り組んでいる。	88	88	90	89	87	90	89
②子どもは、学習や行事など様々な教育活動を通して、学校生活を楽しく送っている。	96	92	94	97	91	96	95

児童、保護者ともに、肯定的な回答が高い割合を占めている。

今年度も様々な行事が中止・縮小となり、学習中心の学校生活で、子どもたちの行事のメリハリや楽しみが減少した。今後も、様々な制約がかかる中でも、自尊感情を高め、仲間と協力し合い、共に伸びる喜びを味わえるような集団づくりを行いながら、すべての児童に居場所が確保される、きめ細やかな配慮が必要である。

また、オンライン授業などで、画面越しに教師や友達とやりとりすることが増えてきた。このような状況下で、ストレスを抱え、不登校傾向や生活態度が落ち着かない児童もいる。人との直接的な対面が減る中でも、心の触れ合いができ、全ての児童が、安心して過ごせる居場所づくり、仲間とともに楽しさや達成感を感じられる集団づくりに取り組んでいきたい。それとともに、様々な支援を受けている、周りの人に対する感謝の気持ちをいつも持てる児童に育てていきたい。

4. 体力向上の推進 ～楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む態度の育成～

体育の授業や外遊び、学校行事等を通して、児童の運動に親しむ態度を育成するとともに体力向上を図ってきた。そのために、休み時間の外遊びの奨励や、委員会の児童による体力づくりのイベントなど、継続的に取り組んだ。

(1) 児童アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
①体育などで、運動することは楽しいですか。	87	92	91	89	92	90	90
②休み時間に、外で元気に遊んでいますか。	78	85	86	67	60	25	67

(2) 保護者アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
①学校は、体育の授業や行事等を通して、子どもの体力向上に取り組んでいる。	84	90	86	90	87	92	88
②子どもは、楽しみながら、運動したり、体をうごかして遊んだりしている。(習い事を含む)	93	94	94	94	78	92	91

児童アンケートでは、運動が楽しいと回答した児童は90%で高い結果となった。外遊びは、高学年になるほど、減少する傾向がある。委員会活動や行事の実行委員会等で休み時間の外遊びができないことも多いが、鬼ごっこ、縄跳び、ボール遊びなど集団で遊ぶ児童も多い。3学期には、体育委員会が大縄記録会を計画し、多くの学級がエントリーし、毎日休み時間に運動場で練習する姿が見られた。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査で運動やスポーツをすることが好きと答えた児童は全国平均よりも高かったが、しかし、今年度も、新型コロナウイルス感染予防と熱中症防止の観点から、児童が密にならないよう、過度な運動になりすぎないような活動に制限して行った。そのため、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も、令和元年度より落ち込み、特に持久力や俊敏性の数値が下がっていた。今後も感染対策が必要な状況が続くことが予想されるが、運動不足による児童の体力低下を防ぐためにも、適切な強度、内容を考え、運動の楽しさを味わわせられるようにする必要がある。

5. その他

(1) 保護者アンケートより

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
学校は、保護者や地域と連携し、「地域と共にある学校づくり」に取り組んでいる。	78	78	82	83	84	87	82
学校は、ホームページや学校便り、通信、懇談会等を通じて、教育活動や子どもたちの様子を伝えている。	88	85	83	88	88	93	87

昨年度より学校運営協議会が発足したが、学校と地域が協働で行っている活動が、保護

者にうまく伝わっていないと思われる。参観・懇談が行えなかった上に行事が減ったため、学校からの発信頻度が少なかったことが原因の一つと考えられる。今後も、学校と家庭・地域が連携して子どもを育てていくために、地域学校協働活動を推進していくとともに、あいさつ運動、栽培委員会との取り組み、野菜作り、草刈り、家庭科の学習支援、昔遊び、昔の暮らしの話など、その活動の様子を広く周知してもらえるよう、ホームページやツイッター、通信、懇談会等を通して、情報発信に努めていきたい。